

### 3. 国際的に高い産業競争力を有する圏域（産業の国際競争力を高める社会資本整備）

中部地方が、「モノづくり」を中心に国際競争力を高め、日本全体の経済を牽引していくために国土の中心に位置する優位性を活かし、今後30年ないし50年を見通して戦略的に社会資本等の整備を進めていく必要がある。

- (1) 産業競争力を高める産業・物流拠点、情報機能の強化を図る
- (2) 国際競争に打ち勝つ高速交通ネットワークの整備と結節を強化する
- (3) 世界の産業拠点都市を形成し、人材・知能の集積による国際研究拠点を構築する

伊勢湾における産業・物流・情報センター化の推進

#### 【主な事業内容】

- ・伊勢湾スーパー中樞港湾におけるソフト面・ハード面でのより一層の機能強化（大水深バース（岸壁）の整備、自動化・IT化等による貨物処理能力の向上、24時間フルオープン等をはじめとする荷役サービスの強化、基幹航路の充実）
- ・中部国際空港の拡充（滑走路の延伸・新設、真の24時間化）
- ・空港アクセス道路の代替性の確保
- ・産業を支える陸上ネットワークの強化（道路ネットワークの拡充・多重化、ITS（高度道路交通システム）の積極的導入、鉄道貨物ネットワークとの結節強化や利用拡大）
- ・国際ゲートウェイに隣接した高度物流拠点（ロジスティクスハブ：臨海部開発余地の活用、港湾や空港と一体となり、物流ネットワークと効率的な接続を果たすことで、センター機能を発揮するIT化した物流拠点）の形成

広域展開を図る高速交通網の整備

#### 【主な事業内容】

- ・第二東名・第二名神の整備
- ・中部国際空港の拡充（滑走路の延伸・新設、真の24時間化）（再掲）
- ・中央リニア新幹線の整備
- ・安全性確保、テロ等への対応

物流を支える交通ネットワークの強化

#### 【主な事業内容】

- ・高速性、安全性、安定性が確保された陸・海・空一貫高速物流ネットワークの整備
- 伊良湖水道などの国際基幹航路の機能強化
- 国際物流基幹ネットワーク（広域幹線道路網・国際標準コンテナへの対応）の整備
- 国際標準コンテナの大量輸送を担う貨物鉄道輸送力の整備
- ・ITを積極的に活用した物流ネットワーク（高規格幹線道路網等）・物流センターの拡充・高度化
- ・安価な建設・管理コストで運用できるETC専用インターチェンジ（スマートIC）設置による高規格幹線道路の利便性確保
- ・陸・海・空にわたる耐震強化や代替性の確保

国際都市機能の強化

#### 【主な事業内容】

- ・名古屋駅地区におけるオフィス・商業・宿泊・コンベンション（国際的催事）機能の整備
- ・都市再生による魅力ある都市への変革
- ・国際都市にふさわしい情報発信機能の強化
- ・国際的に目標とされるような、トップクラスのエリート教育・研究機関等の創設

( 1 ) 産業競争力を高める産業・物流拠点、情報機能の強化を図る

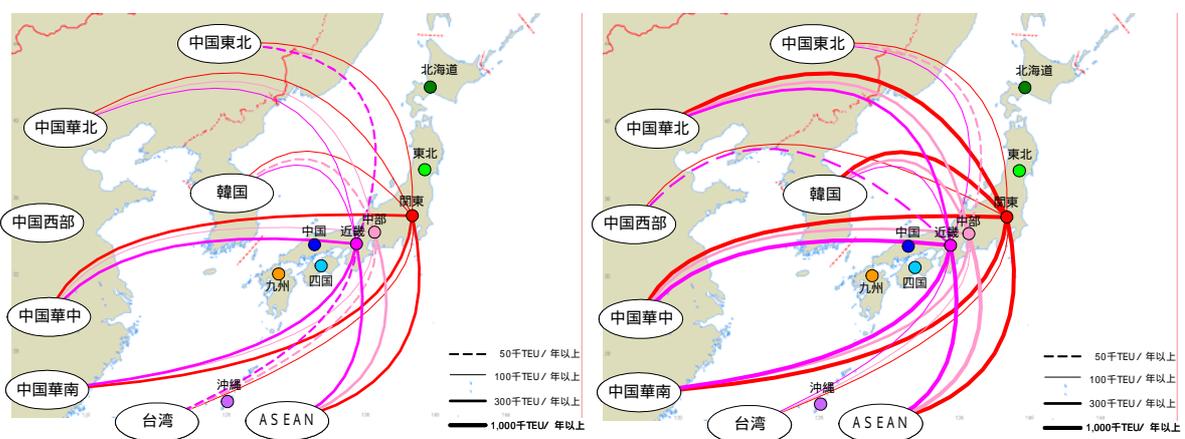
中部は我が国のものづくりセンター、産業首都として、これまで以上に我が国経済を支えることが期待されている。ものづくりを中心に中部が我が国経済を牽引していくためには、背後地域に集積した高度な産業機能を維持・向上させることはもとより、伊勢湾スーパー中枢港湾や中部国際空港のソフト面・ハード面でのより一層の機能強化による時間短縮、コスト圧縮など国際競争力の向上に資する社会資本の充実が求められる。

このため、伊勢湾スーパー中枢港湾においては、大水深バース（岸壁）の整備や基幹航路の充実、自動化・IT化等による貨物処理能力の向上や24時間フルオープン等をはじめとする荷役サービスの強化を図る。一方、中部国際空港については、滑走路の拡充（延伸・新設）をおこない本格的な24時間運用を実現し、航空貨物の航路を拡充させ、産業競争力の強化に資する国際ゲートウェイのグレードアップを目指す。

また、伊勢湾スーパー中枢港湾及び中部国際空港に隣接する臨海部の低未利用地において、IT技術を駆使した高度物流拠点（ロジスティクスハブ：臨海部開発余地の活用、港湾や空港と一体となり、物流ネットワークと効率的な接続を果たすことで、センター機能を発揮するIT化した物流拠点）を形成し、港湾・空港及び物流ネットワークと一体的に機能させることで、伊勢湾地域が中部地域の産業面でのポテンシャルを活かしながら、産業のグローバル化に対応した「人・モノ・情報」が集まる「産業・物流・情報センター」として発展していくことが必要である。

なお、その際には、港湾・空港の耐震強化などを行い、世界の産業・物流・情報センターとしての信頼性・安定性を確保することが必要不可欠である。

三大都市圏の「地域ブロック」と東アジアの国際海上コンテナ貨物量（現状と将来・輸出入計）



出典：「新しい国のかたち『二層の広域圏』を支える総合的な交通体系」（二層の広域圏の形成に資する総合的な交通体系に関する検討委員会）

## (2) 国際競争に打ち勝つ高速交通ネットワークの整備と結節を強化する

中国等への中部企業の進出や、東アジア諸国との自由貿易圏の形成が目指される中で、東アジア諸国との連携・協調を図ることも重要な方針である。北東アジアとの間で翌日配送が可能なSCM(サプライ・チェーン・マネジメント：供給者から消費者までを結ぶ、開発・調達・製造・配送・販売の一連の業務の効率を追求する経営戦略)を実現し、東アジア圏内でジャスト・イン・タイム(必要なものを必要なときに必要なだけ供給できる)の物流ネットワークを形成することが必要である。そのためには、ITを積極的に活用し港湾・空港といった国際ゲートウェイと道路・鉄道ネットワークとの結節を強化し、陸・海・空のモード間の円滑で迅速な接続を実現するための物流センターの拡充・高度化を図るとともに、港湾・空港と陸上交通網を一体的に機能させ、高速性、安全性、安定性が確保された陸・海・空一貫物流ネットワークを実現するため、伊良湖水道などの国際幹線航路の機能を強化することにより、時間短縮・物流コストの圧縮を図ることが重要である。

また、国際標準のコンテナが積み替えなく国際ゲートウェイと主要物流拠点間を輸送できる国際物流基幹ネットワークの構築やITS(高度道路交通システム)等の積極的な導入による交通円滑化、鉄道貨物ネットワークとの結節強化及び利用拡大を図るなど、陸上交通網における効率化・円滑化を図り、コストの大幅な低減を実現することが重要である。

一方、環日本海の国際ゲートウェイを有する北陸地域と伊勢湾をはじめとする太平洋側との連携を図るなかで、それぞれの特長を伸ばしながら相乗的な発展を図ることが重要である。このため、東海北陸道などの整備・拡充により南北軸のネットワークを強化する必要がある。

他方、災害発生後においても中部の産業が壊滅的な被害を受けないよう、道路・鉄道ネットワークの耐震強化や代替性の確保などにより災害に強いネットワークを確保することが重要である。特に中部国際空港のアクセス道路については、アクセスルートの多重化による代替性の確保により空港と高速道路ネットワークとの接続性を向上させることが求められる。

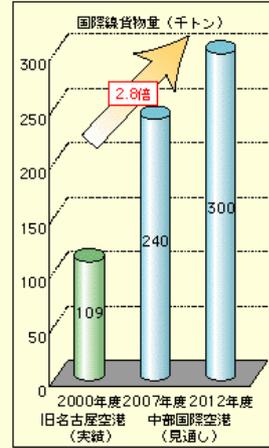
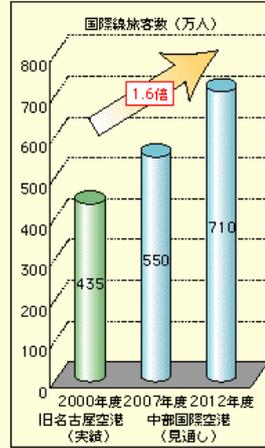


出典

「中部プロジェクトマップ  
2005」(財)中部産業活性化  
センター

## 中部国際空港へのアクセス道路の整備

中部国際空港連絡道路及び知多横断道路等は、平成17年2月の中部国際空港開港に併せて整備された。  
 中部国際空港の航空輸送需要は、2012年度に国際貨物輸送が旧名古屋空港の2.8倍程度と見込まれているなど、周辺道路の交通需要増大が予想されており、アクセス道路の整備は国際競争力の向上等に大きく寄与する。

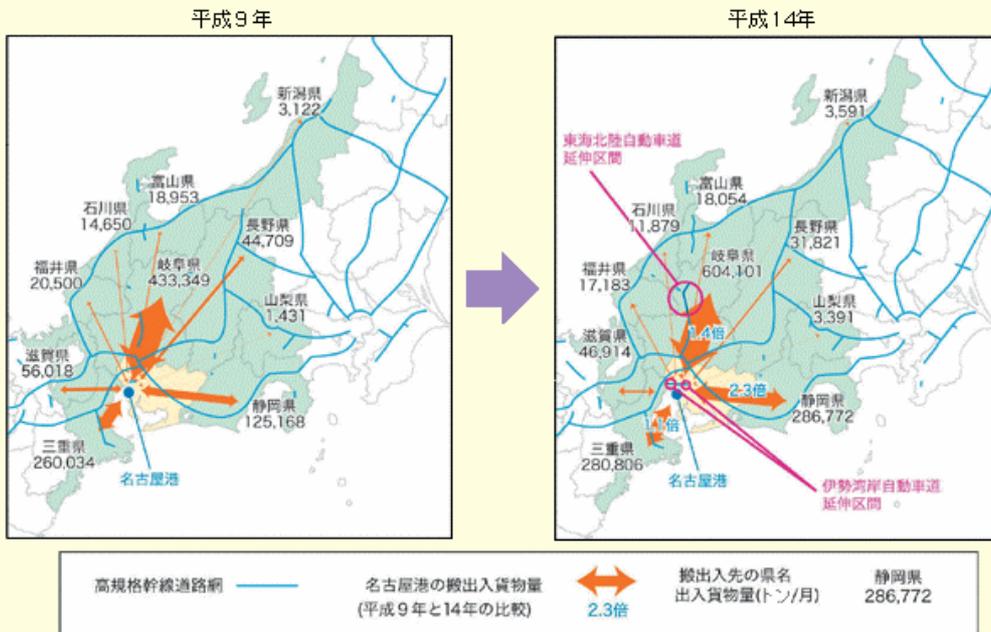


中部国際空港連絡道路 知多横断道路

出典：「国土交通白書 2005」(国土交通省)  
 原出典：愛知県資料

## 名古屋港へのアクセス向上による物流誘発効果

中部圏経済を支える物流基盤である名古屋港は、スーパー中核港湾プロジェクト等の取り組みが行われており、伊勢湾岸自動車道の整備の進展や、東海北陸自動車道の延伸に伴い、その利便性が向上し、周辺地域からの貨物取扱量が大幅に増加した。



資料) 国土交通省「港湾統計 (陸上出入貨物調査)」より作成

出典：「国土交通白書 2005」(国土交通省)

(3) 世界の産業拠点都市を形成し、人材・知能の集積による国際研究拠点を構築する

名古屋におけるコンベンション（国際的催事）施設や国際展示場（メッセ）の整備水準は東京や大阪に比べても低い状況にあり、名古屋が国際都市として国内外から認知されているとは言い難い状況にある。

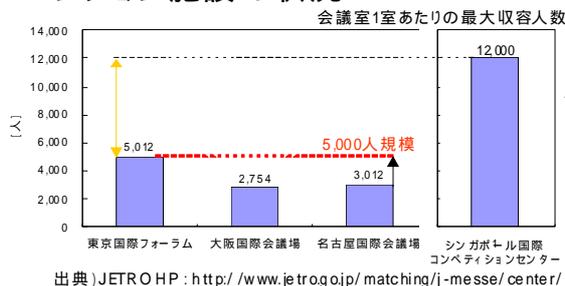
しかしながら、中部国際空港の開港や世界企業の海外部門の名古屋への移転などを追い風として名古屋が国際都市として飛躍する千載一遇のチャンスが訪れようとしている。これを契機として、中部が国際的に中枢性と発信力を備えた圏域へと飛躍を遂げるためには、国際的な企業活動や国際交流に対応し得る人材の集積を図るとともに、中部地方の技術集積を基盤としたロボット産業やナノテク分野・環境産業等の次世代産業を産官学が連携し人材育成や知能の集積・成長を継続的に図り、世界の産業拠点都市を目指すことが重要である。

このため、国際的な企業活動や交流に対応し得る世界水準の商業・宿泊・イベント・コンベンション機能の強化を図るとともに、国際都市にふさわしい魅力ある都心地区を形成する必要がある。特に名古屋駅前地区においては都市再生を推進し、オフィス・商業・宿泊等の機能集積を図り、国際都市として人・情報が活発に行き交う場を形成するとともに、情報発信機能の強化が求められる。

さらに、世界の国々から目標とされるようなトップクラスの教育・研究機関等を創設し、国内外から優秀な人材・知能を集める世界有数の国際研究拠点を構築することが重要である。

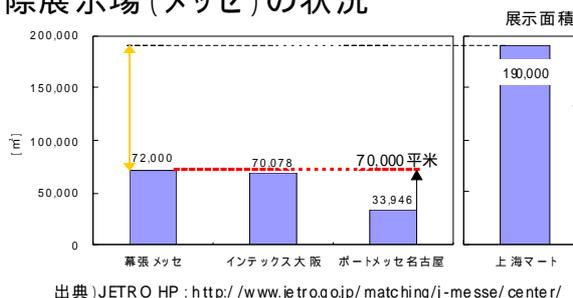
また、名古屋が世界的な産業拠点都市として人知を集積する上では、首都圏・近畿圏との連携を図ることが重要である。このため、第二東名・第二名神や中央リニア新幹線といった三大都市圏の一体性を強める高速交通網を強化し、国際社会の中での拠点性を発揮する基盤を形成する必要がある。

### コンベンション施設の状況



我が国の国際コンベンション施設は諸外国の著名な国際会議場の規模に比べ十分な容量がない状況にある。現在名古屋にある唯一の国際会議場は東京国際フォーラムの約半分の容量であることから、名古屋の国際性・求心性を高める上では最低でも5,000人規模の国際会議場の整備が求められる。

### 国際展示場（メッセ）の状況



我が国の国際展示施設は諸外国の規模に比べ、十分な容量が確保できていない状況にある。現在名古屋にあるポートメッセ名古屋は幕張メッセやインテックス大阪の規模の約半分であることから、名古屋において国際的な見本市を開催する上では、最低でも70,000平米規模の国際展示場の整備が求められる。

## 主要プロジェクト

### 伊勢湾における産業・物流・情報センター化の推進

伊勢湾スーパー中樞港湾におけるソフト・ハード一体となったより一層の機能強化

国際競争力の維持・強化としてアジアの主要港湾をしのぐコスト・サービス水準の実現に向け、IT化等の施策を官民一体で進めることが求められるとともに、次世代高規格コンテナターミナルの整備を推進する必要がある。



中部国際空港の拡充

国際的に高い産業競争力を有する中部を支える国際ゲートウェイとして、中部国際空港の真の24時間化を進めるため滑走路の延伸・新設とともに、ソフト面の更なる整備拡充が求められる。



国際ゲートウェイに隣接する高度な物流サービスが可能となる物流施設の形成

経済のグローバル化に対応し、国際物流と国内物流の結節点として、国際ゲートウェイと隣接したセンター機能を発揮する高度物流拠点（ロジスティクスハブ：臨海部開発余地の活用、港湾や空港と一体となり、物流ネットワークと効率的な接続を果たすことで、センター機能を発揮するIT化した物流拠点）の整備が必要である。



## 伊勢湾における産業・物流・情報センター化の推進

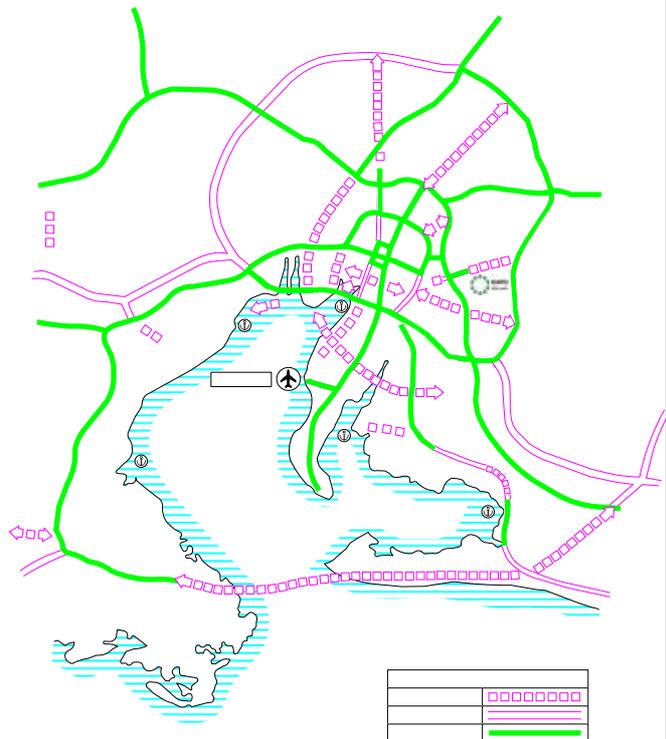
### 空港アクセス道路の代替路確保

第一種国際空港である中部国際空港へのアクセス道路として、知多半島道路とセントレアラインが整備されているが、今後、複数のアクセスを確保することにより、信頼性、確実性をより向上させることが求められる。



### 名古屋圏自動車専用道網の整備

名古屋圏における都市交通の増加及び名古屋港、四日市港、三河港等を起終点とする交通需要の増加に対処するため伊勢湾周辺地域も含めた名古屋圏の自動車専用道路網の着実な整備が必要である。



## 広域展開を図る高速交通網の整備

### 第二東名・第二名神の整備

3大都市圏の連携を強化するとともに、日本の大動脈を担う東名・名神高速道路と一体となって、信頼性、安定性の確保を図り、東西軸の要となる第二東名・第二名神の整備を引き続き推進する必要がある。



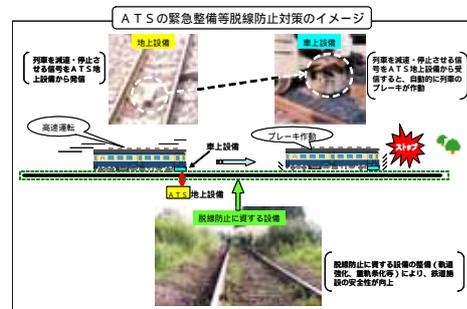
### 中央リニア新幹線の整備

超電導磁気浮上式鉄道（超電導リニア）は、その高速性により我が国の経済・社会構造を抜本的に変革する可能性のある交通機関であり、次世代の超高速大量輸送システムの実現を目指し、一層のコスト低減が期待される高温超電導磁石に関する技術開発を進める必要がある。



### 安全性確保、テロ等への対応

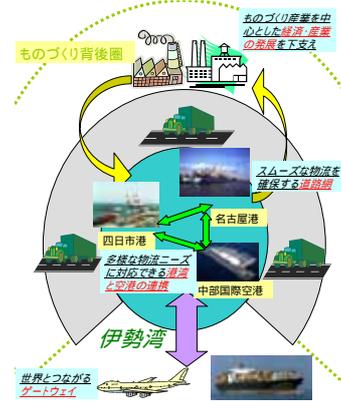
公共交通の安全性向上のため、鉄道等の大量輸送機関の安全な運行システムの構築やヒューマンエラー(人的過失)事故防止対策の検討、災害、テロ対策等危機管理体制の構築を進める。



## 物流を支える交通ネットワークの強化

### 陸・海・空一貫高速物流ネットワーク（スーパーロジスティクスハイウェイ網）の整備

高速性、安全性、安定性が確保された陸・海・空一貫物流ネットワークの整備を推進し、より短時間で効率的な物流のネットワークを構築することによる時間短縮、コスト縮減が求められる。



### 国際物流基幹ネットワークの整備

名古屋港や四日市港など主要な港湾等と主要物流拠点間を国際標準コンテナ車が積み替えずに輸送できる国際物流に対応した道路のネットワーク化を図る必要がある。



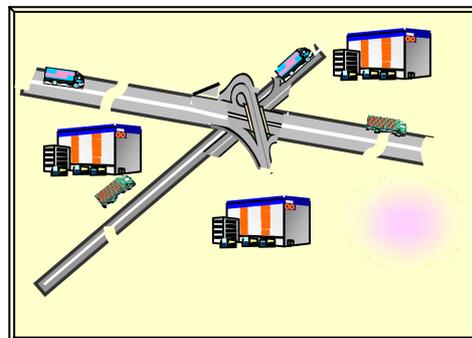
### 高規格幹線道路網の整備

自動車の高速交通を確保し、重要な空港・港湾や地域の発展の拠点となる地方の中心都市を効率的に連絡し、地域相互の交流の円滑化を図ることにより、陸・海・空において、円滑な物流ネットワークを確保する高規格幹線道路網を整備する必要がある。



### IT を積極的に活用した物流ネットワーク・物流センターの拡充・高度化

高速道路の IC 周辺に流通拠点を整備するとともに物流 EDI（電子データ交換）、電子タグ、パレット等の標準化や規格統一により、物流の効率化が求められる。



## 物流を支える交通ネットワークの強化

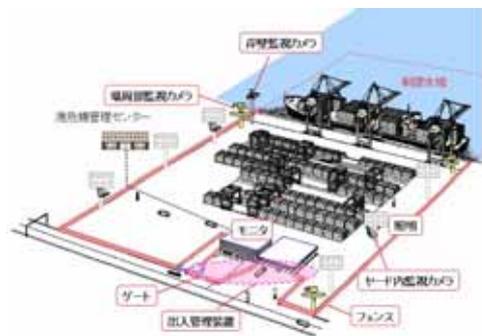
### スマートICの設置

既存の高速道路の有効活用や地域経済の活性化を支援するため、安価な建設・管理コストで運用できるETC専用IC（スマートIC）を積極的に導入する必要がある。



### テロ等の危険を水際で阻止する対策の強化

国際組織的犯罪や国際テロの発生が危惧される中、水際である国際港湾・空港における保安対策は重要であることから、中部の港湾・空港における保安対策の拡充が重要である。



## 国際都市機能の強化

### 名古屋駅地区における商業・宿泊・イベント・コンベンション（国際的催事）機能の整備

優れた技術集積を持つ中部が国際的に中枢性と発進力を備えた地域へ飛躍するために、名古屋駅地区において、国際水準のコンベンション、メッセ、ホテル、商業等の機能の拡充を図る必要がある。



### アフターコンベンション機能の強化

コンベンションの魅力を増すために、都心部・臨海部における水辺空間の創出、国際観光交流拠点の整備を行い、アフターコンベンション（催事時に催される見学、観光等）機能を強化する必要がある。



### 国際観光交流拠点の整備

国際交流都市として資質をレベルアップさせるために、国際水準のホテルや地域の歴史・文化・自然等の案内・体験施設等国際的な観光交流拠点を整備する必要がある。

